

現代日本語形容詞の多義構造

—— 形容詞多義語における第一義の条件 (その1) ——

丹 保 健 一

The Polysemic Structure of Japanese Adjectives

Kenichi TANBO

〔キーワード〕 多義語、第一義、多義配列、形容詞、辞書

【I】これまでの研究

I-1. 奥田 (1967)

奥田は、辞書に見られる「見る」の意味記述を検討しつつ、単語の語彙的な意味が実現する諸条件を、次のような型に分けている。

①自由な意味 (現実世界の物や現象や程度や質など、ひとときの現実と直接にかかわっていて、それを名付けているもの。基本的である。単語の機能、連語の構造、単語の形態、慣用句に縛られていない。) ②構造的に縛られた意味。③機能に縛られた意味。④-1 慣用的ないいまわし。④-2 慣用句的な組合せ。⑤形態的に縛られた意味。⑥単語の形象的な意味。

I-2. 丹保 (1990a)

形容詞多義語の第一義が、次に示す分類順において常に左側の位置を占める傾向にあることを指摘したものである。

①位置 ②形状 ③実質 ④刺激 ⑤状態 ⑥数量 ⑦時間 ⑧類型 ⑨程度 ⑩価値 ⑪評価

但し、形容詞を〔性状〕と〔性向〕とに大別した語彙の中で〔性状〕に第一義があるものを対象としている。なお、〔性向〕に第一義があるものは、上記のようなことは言えない。

①～⑪をふくむ形容詞全体の分類基準を示しておく。(以下に示す分類は、大野・浜西 (1981) を元に修正したものである。)

まず、形容詞を大きく二つに分ける。それらを大野・浜西 (1981) に倣い、〔<性状>〕〔<性向>〕と名付ける。

さらにそれらを各々次のように分類した。それぞれの分類の考え方・基準及びそれぞれに含まれる語彙を例示しておく。下線は本稿で対象としたものである。

表－A 形容詞意味分類一覧

〔＜性状＞〕：物事（人間独自の事柄以外）についていうもの。

- ① ＜位置＞：モノの位置、方向、位置関係を表すもの。
例；「高い、低い、近い、遠い」
- ② ＜形状＞：モノの広がり（長さ、広さ、かさ）、形を表すもの。
例；「大きい、小さい、長い、太い、細い、丸い、短い」
- ③ ＜実質＞：モノの内実を表すもの。例；「重い、軽い」
- ④ ＜刺激＞：モノから五感が直接感じる刺激を表すもの。
例；「青い、赤い、明るい、暑い、熱い、甘い⁽¹⁾、痛い、美味しい、暗い、黒い、寒い、白い、まずしい、冷たい、まずい」
- ⑤ ＜状態＞：モノ及びコトのありさまから受ける印象を表すもの。
例；「あぶない、面白い、むずかしい、やさしい、易い」
- ⑥ ＜数量＞：数量的に捉え表すもの。
例；「多い、無い」
- ⑦ ＜時間＞：時間的に捉え表すもの。
例；「新しい、遅い、はやい、古い」
- ⑧ ＜類型＞：他を常に前提とするもの。
例；「等しい、珍しい？」
- ⑨ ＜程度＞：度合、程度を表すもの。他の形容詞の度合・程度を表し得るもの。
例；「激しい」
- ⑩ ＜価値＞：交換価値・値段を表すもの。例；「安い」
- ⑪ ＜評価＞：善悪、美醜等の評価を言語化したもの。例；「悪い」

〔＜性向＞〕：人間独自の事柄についていうもの。

- ① ＜身体＞：身体、身体部位、容貌、健康について表すもの。例；「（可愛い）」
- ② ＜態度＞：表情、身振り、態度等に見られるその人の態度を表すもの。次に示す分類＜性質＞との区別がつきにくく、実際の場面においては判断しがたいことが多い。
例；「勇ましい」
- ③ ＜性質＞：性質、性格、人柄を表すもの。例；「狡い」
- ④ ＜才能＞：能力、才能を表すもの。例；「賢い、強い？、弱い？」
- ⑤ ＜境遇＞：地位、身分等、置かれている社会的、人間的な位置・境遇を表すもの。
例；「貧しい」
- ⑥ ＜心様＞：心の内容を表すもの。例；「気が小さい。」における「小さい」等
- ⑦ ＜感覚＞：五感が直接受けた感覚を表すもの。
例；「暑い、熱い、甘い⁽²⁾、痛い、美味しい、寒い、冷たい、まずい」（主として体表・皮膚でそれを感じるものである。痛さなどは体内でも感ずることがある。）
- ⑧ ＜感情＞：直接的な感情を表すもの。例；「嬉しい、寂しい、楽しい」

注（１）（２）；「甘い」は＜刺激＞＜感覚＞の二つに分類される。『学研国語大辞典』の第一義の意味による。

注；「感覚」を「刺激」と別に立項するといったことは辞書には見られないようであるが、形容詞の意味分類として区別されることの多い「感覚」をとりあえず「性向」の一分類・範疇として考えておきたい。なお、感覚、感情、属性の判別法に「～ガル」「～クナル」等によるテストがある。

【Ⅱ】対象語彙と辞書（語形、辞書）

Ⅱ－１．調査・分析の対象とする形容詞

ここで扱う語は、形容詞の中で基本的・基礎的語彙であると思われるものである。具体的には、『日本語教育語彙資料（１）（２）－低学年初級500語』に含まれる形容詞46語であってかつ先に示した各分類（Ⅰ－２）において最も多義性の高い語（『学研国語大辞典』による）であるものとする。対象とするのは次の12語である。

- ①あたらしい（新）、②あまい（甘）、③おおきい（大）、④おもい（重）、
⑤かわいい（可愛）、⑥さびしい（寂）、⑦たかい（高）、⑧つよい（強）、
⑨ない（無）、⑩むずかしい（難）、⑪やすい（安）、⑫わるい（悪）

Ⅱ－２．辞書類について

本稿では、現代語を対象とした数種の辞書を中心に多義の意味記述（意味立項の配列）を見ていくことにする。数種の辞書類とは次の①～⑥を指す。⑦～⑮は参考とするものである。

- ①『学研国語大辞典』金田一、池田 編（1978）
②『岩波国語辞典』第3版 水谷、岩淵、西尾編（1979）
③『例解新国語辞典』林、野元、南 編（1984）
④『現代国語例解辞典』林 編（1985）
⑤『三省堂現代国語辞典』市川他編（1988）
⑥『新明解国語辞典』第4版 金田一他（1989）
⑦『三省堂国語辞典』第4版 見坊主幹（1992）
⑧『新潮現代国語辞典』山田、築島藤、奥田 編（1985）
⑨『日本語大辞典』講談社（1989）
⑩『光村国語学習辞典』光村図書出版（1992）
⑪『現代形容詞用法辞典』飛田、浅田共著（1991）
⑫『外国人のための基本語用例辞典』文化庁（1971）
⑬『基礎日本語』1、2、3 森田 良行（1977、1980、1984）
⑭『計算機用日本語基本形容詞辞書 I P A L（Basic Adjectives）』情報処理振興事業協会（1990）
⑮『形容詞の意味用法の記述的研究』国立国語研究所 西尾寅弥（1972）

以下、①～⑮を各々①「学研」（又は「学」）②「岩波」（「岩」）③「例解」（「例」）④「現代」（「現」）⑤「三現」（「三」）「新明」（「新」）⑦「三国」（「国」）⑧「新潮」（「潮」）⑨「日本」（「日」）⑩「光村」（「光」）⑪「用法」（「用」）⑫「外国」（「外」）⑬「基礎」（「基」）⑭「I P A L（a）」（「I P」）⑮「西尾」（「西」）と略記することができる。

Ⅱ－３．辞書別多義数一覧

「西尾」を除く14の辞書の多義数（上位意味立項数）についてまとめたのが次の表である。
但し、補助形容詞、助動詞、接辞等と考えられるものについては数にいない。

表－B 辞書別多義数一覧

	学 研	岩 波	例 解	現 代	三 現	新 明	三 国	新 潮	日 本	光 村	用 法	外 国	基 礎	IP AL
1 新しい	4	1	2	4	4	2	4	6	3	4	2	2	2	4
2 甘 い	11	4	6	6	9	4	8	9	7	7	5	5	3	10
3 大きい	7	3	5	7	9	1	6	6	5	2	3	3	1	7
4 重 い	3	2	5	5	5	4	5	7	5	5	2	3	3	12
5 可愛い	2	2	2	1	2	1	1	2	2	2	3	2	3	4
6 寂しい	3	1	3	2	3	3	3	4	3	3	5	3	1	3
7 高 い	11	2	4	8	9	4	9	9	7	4	5	4	2	6
8 強 い	7	2	3	5	7	3	7	10	6	4	3	3	1	12
9 無 い	3	2	2	3	3	1	7	3	2	1	2	3	1	4
10 難しい	5	2	5	6	6	4	6	7	6	3	3	4	2	6
11 安 い	4	3	1	5	1	2	2	2	4	1	3	3	1	1
12 悪 い	3	1	7	3	10	5	1	1	8	7	2	4	／	13

注；多義数は、補助的な用法（接辞、補助用言等）を除いたものである。

「／」は項目のないことを示す。

【Ⅲ】意味特徴について

Ⅲ－１．第一次の意味特徴について

意味特徴を幾つかの視点から大きく分類するものとしてリーチ（1974）、池上（1977）、国広（1982）、鈴木（1973）等が注目される。本稿では、主として国広（1982）及び池上（1977）に若干手を加えた次のような諸特徴を意味の第一次的（次元別）分類の大枠として考えたい。

- （１）文法的特徴（品詞の特徴、統語の特徴、格支配？）
- （２）語義的特徴（前提の特徴、本来の特徴）
- （３）含蓄的特徴；
 - ① 文体的特徴；文語、口語、古語、新語、年令等
 - ア．時間（廃語、古語、新語等）
 - イ．地域（方言、方言臭）
 - ウ．社会（職業、俗語、卑語、敬語、女性語等）
 - エ．その他（外来語）
 - ② 喚情的特徴；軽蔑的ひびき、尊敬のひびき等
 - ③ 文化的特徴；連想等
- （４）形態的特徴・制限、共起的特徴・制限等（慣用句的用法）

意味立項の配列順には上に示した諸特徴が大きく係わっているものと思われる。その意味で上記の第一次の意味分類は意味の配列を知る上で参考となろう。本稿では、これらの意味特徴の内、（２）の語義的意味特徴に関する議論が中心となろう。

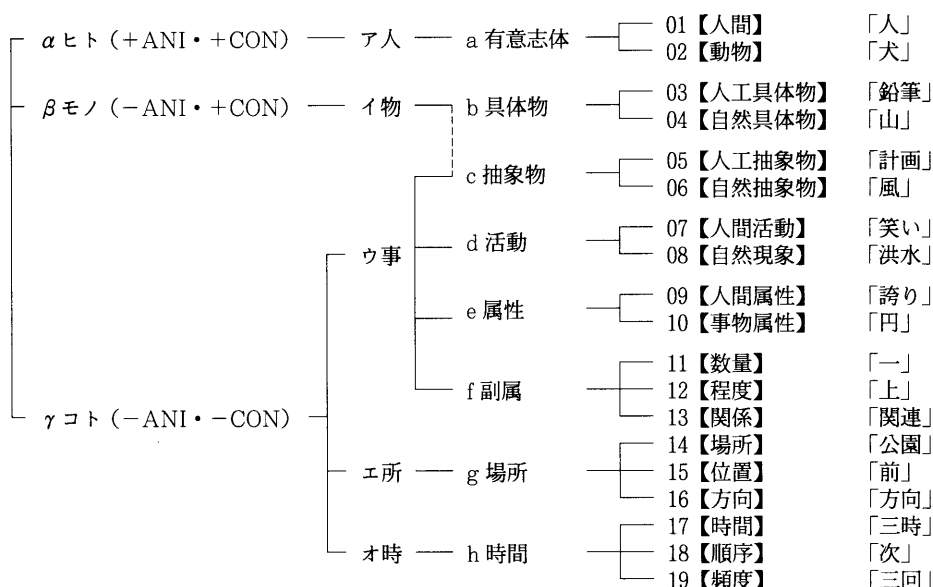
Ⅲ-2. 共起する概念・単語を調査のための名詞の意味分類について

どのような意味・概念・語と共起するかを知る為に、筆者の試案的な名詞分類並びに荻野(1987)を用いることにする。

初めに筆者の考え方を示しておく。

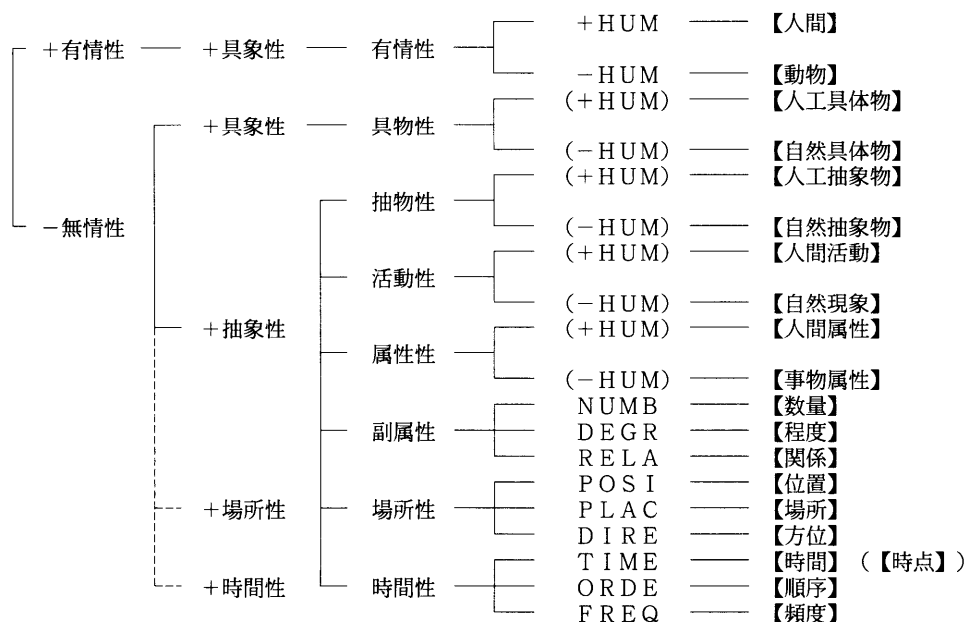
Ⅲ-2-1 (1) 名詞の意味分類体系(試案)

表-C 【現代日本語(初級)名詞意味分類体系見取り図】



Ⅲ-2-1 (2) 名詞の意味特性体系(試案)

表-D 【現代日本語初級名詞意味分類体系見取り図】



Ⅲ-2-1 (3) 名詞に関する主要な意味素性の考え方及びテスト法

① <+ANI : 有情性>

- ; 意志を持つと思われるもの。
- ; 「～がいる。」の「～」に入るもの。
- ; 典型(テスト語) = 「人」

② <+CON : 具象性>

- ; かさ・重さがあると思われるもので通常視覚可能なもの。
- ; 「あそこにいる／あるのは～です。」の「～」内に入るもの。
- ; 典型(テスト語) = 「物体」
- *注; 「／」は「又は」の意

③ <ANI : 有情性>

- ; 意志を持つと思われるもの。
- ; 「～がいる。」の「～」に入るもの。
- ; 典型(テスト語) = 「人」

<(+HUM)>: 「あそこには誰がいますか?」で問うことが可能。【人間】

<(-HUM)>: 「あそこには何がいますか?」で問うことが可能。【動物】

; 「<人間／動物>の～が痛そうです」【部位】

④ <CON : 具物性>

- ; 主体を前提としない、無意志の具体物。
- ; 「あそこにあるのは～です。」の「～」内に入るもの。
- ; 典型(テスト語) = 「物体」

<(+HUM)>: 人が関わって生じたもの。【人工具体物】

; 典型(テスト語) = 「物体」

<(-HUM)>: 人が関わっていないもの。【自然具体物】

; 典型(テスト語) = 「物体」

#主体を前提としないとは、その語が示すものがそれ自身が独立して存在すると感じられるもののことをいう。

⑤ <ABS : 抽物性>

- ; 主体を前提としない、無意志の抽象物
- ; チェック法は?
- ; 典型(テスト語) = 「計画」「音」

<(+HUM)>: 人が関わって生じたもの。【人工抽象物】

; 典型(テスト語) = 「計画」

<(-HUM)>: 人が関わっていないもの。【自然抽象物】

; 典型(テスト語) = 「音」

⑥ <ACT : 活動性>

- ; 主体を前提とするもので、
- ; 「～が続いている」で何らかの活動・現象・活動結果が継続していると感じられるもの。
- ; 典型(テスト語) = 「活動」「現象」

<(+HUM)>: 常に人が関わっている活動。【人間活動】

；典型（テスト語）＝「活動」
<（－HUM）>；人が関わっていない現象。【自然現象】
；典型（テスト語）＝「現象」

⑦ <MAN：属性性>

；主体を前提とするもので、活動・変化を感じないもの。
；典型（テスト語）＝「様子」「状態」「属性」
<（＋HUM）>；人間にのみ関係する属性。【人間属性】
；典型（テスト語）＝「様子？」
<（－HUM）>；事物に関する属性。【事物属性】
；典型（テスト語）＝「様子？」「状態？」「状況？」

⑧ <SMA・副属性>

；典型（テスト語）＝「数量」「程度」「関係」
<NUMB>；「幾つ？」の返答としての「～」に入るもの【数量】
；典型（テスト語）＝「3つ」
<DEGR>；「もっと／やや／ほぼ～」【程度】
；典型（テスト語）＝「程度」
<RELA>；「AとBの関係はよい～だ。」？【関係】
；典型（テスト語）＝「関係」「間柄」

⑨ <LOC・場所性>

；人間の存在・活動が想定される場所。または位置関係
；「何処にいるの？」又は「何処／どっち行くの？」の返答としての「～」に入るもの
；典型（テスト語）＝「場所」「方向」
<POSI><PLAC>
；「彼は今どこにいますか？」「～にいます。」【位置】【場所】
人間の存在・活動が想定される場所で、視覚可能な場所。
；典型（テスト語）＝「前」「場所」
<DIRE>；「～に／へ行きます。」【方位】
；典型（テスト語）＝「方向」

⑩ <TIM・時間性>

；時間に関するもの。
；「何時（いつ）？」「何回？」の返答としての「～」に入るもの
；典型（テスト語）＝「時間」「順序」「頻度」
<TIME>；「何時（いつ）？」の返答としての「～」に入るもの
；典型（テスト語）＝「三時」「三時間」
<ORDE>；「次（いつ）？」の返答としての「～」に入るもの
；典型（テスト語）＝「次」？
<FREQ>；「何回？」の返答としての「～」に入るもの
；典型（テスト語）＝「三回」

Ⅲ－２－２．名詞意味分類表（荻野1987）

分類名は小数点2位までを示した。但し、語例は総ての分類毎に一語挙げた。

表－E

1.1 有意志体

- 1.11 人間 「男」
- 1.12 準人間 「学校」「東京都」「委員会」「世間」「神」
- 1.13 有意志動物「犬」
- 1.14 乗り物 「飛行機」

1.2 具象物

- 1.21 生物 「男」「犬」「むかで」「稲」「茎」
- 1.22 人工物 「板」「ねじ」「扉」「スパナ」「くわ」「ブルトーザ」「やり」「タイプ」「ノート」「電卓」「カメラ」「テープ」「ファックス」「掃除機」「箱」「ふた」「フライパン」「おもちゃ」「ピアノ」「証明書」「費用」「机」「ござ」「包丁」「針」「ベル」「ライト」「縄」「時計」「血圧計」「鍵」「着物」「ブローチ」「カレー」「飲物」「文書」「絵画」「写真」「住居」「競技場」「ダム」
- 1.23 自然界生成物 「水」「金」「宇宙」
- 1.24 自然領域 「宇宙」「山」「川」「森林」
- 1.25 現象による物 「風」「音」「尿」「雨」
- 1.26 扱い対象物（人間、天体物を除いた具象物一般） 「農産物」「果物」「所有物」「材料」

1.3 活動

- 1.31 活動一般 「動き」
- 1.32 生物・具象物・活動・抽象概念の現象 「現象」「降雨」「反応」「生 死」「呼吸」「飢え」「病気」「発展」
- 1.33 具象物・活動・抽象概念の変動 「変動」「動き」「横転」「付着」「ゆがみ」「腐食」「沈下」「増加」「開幕」「遅延」
- 1.34 有意志体の活動 「笑い」「満足」「同情」「行動」「動作」「歩行」「着用」「食事」「出入り」「滞在」「労働」「回転」「賃貸」「移動」「破壊」「染色」「接続」「消去」「増加」「延期」「作成」「利用」「処理」「陳述」「発話」「記録」「報道」「伝聞」「見聞」「目撃」「傾聴」「指導」「思考」「意向」「調査」「学習」「計算」「要求」「援助」「妨害」「交渉」「約束」「付き合い」「結婚」「出会い」「訪問」「敬礼」「歓迎」「支配」「同伴」「随行」「救出」「採用」「勝負」「闘争」「競争」「殺人」「出席」「入学」「入社」「賛成」「追求」「逃避」「告訴」

1.4 抽象概念 抽象概念

- 1.41 抽象物 「文書」「声楽」「演劇」「政策」「法則」「概要」「方針」「日程」「目標」「教養」「回答」「法律」「宗教」「伝言」「疑問」「文字」「共通語」「郵便」「心」「意向」「愛情」「名誉」「悲しさ」
- 1.42 人の集まり 「大衆」「国民」「家族」「旅行団体」「世間」「政府」「病院」「運動会」
- 1.43 属性 「数」「頻度」「順番」「平均」「大量」「1」「回」「番」「時」「時間」「形」「円形」「材質」「固体」「味」「美味」「趣き」「みかけ」「健康」「病身」「種族」「男」

「機能」「システム」「中身」「力」「エネルギー」「体力」「才能」「権力」「気力」「人手」「状況」「災難」「前兆」「偶然」「身振り」「顔つき」「容姿」「性格」「精神力」「体制」「権利」「兄弟」「医者」「意味」「便宜」「困難」「長所」「無事」「美しさ」「罪科」「珍事」「事実」

- 1.44 関係概念 「関係」「独立」「全体」「対応」「異同」「真偽」「結果」「基本」「両者」「存在」「本体」「種類」

1.5 時

- 1.51 時点 「季節」
1.52 時点の値 「朝」
1.53 時間 「時間」
1.54 頻度の値 「三回」
1.55 順序の値 「最初」

1.6 場所

- 1.61 場所名 「／」
1.61 場所値 「あそこ」「右」「東京」「陸」「施設」「現住所」

【Ⅳ】辞書に見られる初級形容詞多義語の多義記述について

表－Bによって、「学研」の意味立項が他に比べて一般に細かであることが分かる。本稿では主として「学研」の記述によって第一義を見ていくことにしたい。用例は簡略化して記した。

Ⅳ－1. 「新しい」

Ⅳ－1－1. 辞書等の記述例（辞書等名右の数字は多義立項数を示す。）

（1）「学研」 4

- ① 「物ができてから、また物事が始まってから」あまり時間がたっていない。「～（雑誌は）折れてはいるがまだ－・い。」「－・い会社」
② 「野菜・魚などがとりたてで」生き生きしている。
「魚が－・いので～」
③ 今までにそういうものがなかった。はじめてのものだ。
「～－・い良き文明が～」
「～更に－・い怒りを～」
「～－・いことを～」
④ 「今までになく」現代的・進歩的である。
「考えが－・い」

（2）「岩波」 1（4） #かっこ内の数字は下位分類数示す。

- ① 成り立ってから、または現れてから、まだ時間がたっていない。
イ、できて間がない。「－・洋服」 ロ、なま物が新鮮さを保っている。「－・魚」 ハ、今までには無い、または様子が違う。今度初めてのものである。現代的・進歩的の意を込めても使う。「－・く入社した人」「－・思想」「－・数学」 ニ、改めた後のものである。「－・住所」

（3）「例解」 2

- ① 今までになかった、はじめてのようす。「－・型」「－・考え」 ②生まれたり作られたりしてから、あまり時間がたっていない。「－・シャツ」

（4）「現代」 4

- ① 初めてである。ある状態になったばかりである。「ー・く入社した青年」「ー・年」②物事ができたばかり、また、使い始めたばかりである。「ー・洋服」③新鮮である。生き生きとしている。「ー・空気」④ 今までではなかったさま。現代的な、進歩的な。「ー・思想」「ー・感覚」

(5)「三現」 4

- ① 今までのものとはちがって、初めてのものである。「ー・かばん」「ー・考え」②できたばかりだ。「ー・建物」③とれたばかりで、新鮮だ。「ー・野菜」④現代的だ。「ー・女性」

(6)「新明」 2

- ① 今までに無かった性格・面を持つことが認められるようだ。「ー・靴」「ー・試み」「ー・対応～」「ー・段階～」「ー・（進歩的な）思想」②出来て・（取れて）から時間がたっていない様子だ。「記憶にー・」「ー・本」「ー・魚」

(7)「三国」 4

- ① はじめて見たり聞いたり使ったり・する（した）状態である。「ー・くつ」②できた・（とれた）ばかりだ。「ー・本」③同類とちがっている。「ー・文学」④現代的だ。「ー・女」

(8)「新潮」 6

- ① 時間的にみて、もっとも今に近い。あらたである。「ー・く出来た家」「ー・く来た教師」②初めて現れたものである。「その学術のー・田地を～」③現代的・進歩的である。「～・女とか～」④生鮮食品がとれたばかりでみずみずしい。生き生きしている。新鮮である。「ー・き魚」⑤時間がたっていない。又は、一度も使っていない。「ー・着物」「紙の色が非常にー・」⑥ なまなましい印象である。「記憶にー・」

(9)「日本」 3

- ① 今までにない。はじめてである。「ー・入社する」②生き生きしている。「ー・魚」③使い古されていない。「ー・シャツ」

(10)「光村」 4

- ① それまでとはちがっているようす。「ー・考え～」「～・く買った」②はじめてのものであるようす。「ー・タイプの車」「～・山ができた」③できてから、まだ使われていないようす。「ー・服～」「～・自転車に～」④魚や野菜などが、とれたばかりであるようす。「この店の野菜は～・」

(11)「用法」 2

- ① 物事の考えなどが今までにない様子を表す。「ー・年の始め～」「～家具を全部ー・くした」「ー・法律は～」②時間があまり経過していない様子を示す。「このキャベツはー・」「～記憶にー・」③進歩的である様子を表す。「～考えがー・」

(12)「外国」 2

- ① 今までにない、はじめての。「ー・型～」「～・研究～」「～く入社した・～」「～・年～」「～・漢字～」「～・メンバー～」「ー・法律」「ー・思想」②できたばかりのようす。（なまのものが）いきいきしているようす。「～・洋服～」「～・アパート～」「ー・住所～」「さかなは～・ければー・ほど～」「～カーテンをー・くして～」「ー・ニュース」

(13)「基礎」 2

今まで存在しなかった事物が現れて間もない状態をいう。新しい状況として次の二つがある。

- ① 現れたばかりで、まだあまり時を経ていない状態。②現れた事物が、それまでの事物にはない違った点を有しているため、それに取って替わった状態の場合。

(14)「IPAL (a)」 4

- ① できてから少ししか時間がたっていない。

【連体】N 1

【制限1】雑誌、本、靴、洋服、山、建物、歯、カーテン、星、家、スタジオ、学生、メンバー、市長、友達、会社、学校、ニュース、部、仕事、年

【制限2】／

【連用】／

【連用動詞】／

【その他】

【名詞句1】この雑誌、この本、この靴、この肉、あの店の野菜、カーテン、あの星、あの家、あの映画スタジオ、学生、メンバー、市長、友達、その会社、その学校、ニュース、うちの学校の校歌、新人賞、この種の仕事、年、この町

【名詞句2】

【名詞句3】

- ② まだ使われていない。

【連体】N 1

【制限1】紙、コップ、日記帳、カード、靴、シャツ

【制限2】／

【連用】－くなる、－くする 1

【連用動詞】出す (D)

【その他】

【名詞句1】紙、コップ、日記帳、カード、この靴、シャツ、ワイシャツ

【名詞句2】

【名詞句3】

- ③ 今までのものとは別のものである。

【連体】／

【制限1】／

【制限2】資源、制度、規則、人事、顔ぶれ、担任、メンバー、住所、服、時代、状況、流れ、段階、問題、情報

【連用】－くなる、－くする 1

【連用動詞】覚える、発見する、見つける、買いそろえる、替える、完成する、作り出す、出来る、建築する、設置する、結成する、選ばれる、当選する、書き直す、刷り上がる、始める、再出発する、入社する、入学する (D)

【その他】

- ④ 今までにない特色を持っている。

【連体】N 1

【制限1】制度、政策、方向、企画、構想、催しもの、都市づくり、試み、対応、活動、手口、意見、見解、見方、視点、思想、文明、倫理、研究、発見、技術、実験、分野、動き、品種、個性、スタイル、ファッション、音楽

【制限2】／

【連用】／

【連用動詞】／

【その他】

【名詞句1】この制度、この政策、この方法、この企画、この構想、この催しもの、その都市づくり、その試み、この森づくり、このような対応、このような福祉活動、その知能犯の手口、そんな意見、このような見解、こんな見方、そんな視点、このような思想、その文明、この経営倫理、この研究、この発見、この技術、この実験

【名詞句2】

【名詞句3】

(注；「I P A L (a)」の用例は朝日新聞の1カ月からのものが中心で各種辞書10冊も参考にしたとのこと。1993. 6. 24の電話での回答による。)

(注；制限用法1とは、被修飾語がガ格名詞句と見た目には対応する場合のことを言い、制限用法2とは対応しない場合のことを言う。)

(注；名詞句とは、終止用法のあるものを指している。名詞句1、2、3は名詞句の数を指している。)

(注；I A P Lはフロッピー版をも使用している。フロッピー版使用の配布及び使用許可に対して情報処理振興事業協会に感謝の意を表したい。)

IV-1-2. 各辞書類の意味立項配列表

表-F

意味 \ 辞書等	学研	岩波	例解	現代	三現	新明	三国	新潮	日本	光村	用法	外国	基礎	I P A L
① 時間がたっていない	1	イ	2	2	2	2	2	1			2	2	1	1
② 新鮮である	2	ロ		3	3	2	2	4	2	4	2	2		
③ 初めてである、別の	3	ハ	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	3 4
④ 現代的である	4			4		1	4	3			3			
⑤ 未使用である					4		1	5	3	3				2
⑥ 印象が生々しい								6						
⑦ 改めた後だ		ニ												

注；「岩波」のイロハニは下位分類を示す。

注；表中の番号（またはイロハ）は意味立項順を示す。

注；囲み数字は①又は③に一義があることを示す。

IV-1-3. 「新しい」の意味と共起名詞

「新しい」の多義を辞書等を参考に大きく6つと仮定し、その上で被修飾語となる名詞について調査したのが次の表である。

表-G 具体例による「新しい」が修飾する名詞とその際の「新しい」の意味

【凡例等】

- (1) 表中の「◎」「○」「●」「？」は各々具体例のあるもの、潜在的可能性のあるもの、可能性のないもの、判断に迷うものを表す。「??」は意味の典型において注目したいものを示す。
- (2) 「*1」は「真新しい+名詞」の用例であることを示す
- (3) 「*2」は第一義（基本的意味、基礎の意味）でないことを示す。
- (4) 「*3」は、その他の欄に注があることを示す。
- (5) 「①～⑥」は、各々次のような意味である。名詞は基本義を考える。但し*2として示したものはそれによる。
 - ① 「出来てから（始まってから、生まれてから、生じてから、ある状態になってから）、時間がたっていない（状态的に全く、あるいは殆ど変化がない）」買ったばかりの、入手したばかりの
 - ② 「食べ物のがとりたてで新鮮である（とりたて同様に新鮮である）」＜+価値＞
 - ③ 「今までのものとは違う（これまでになかった、初めてである、これまでとは別の）」
 - ④ （人間について）「進歩的である（現代的である）」＜+価値＞
 - ⑤ 「未使用である」
 - ⑥ 「印象、記憶がその時と殆ど同じで薄れていない状態である。（印象、記憶が生々しい）」
なお、先に示した⑦「改めた後である」は、③に含ませた。
- (6) 各欄の点線の左が潜在的可能性を、右が具体例（文脈）における意味である。
- (7) 点線の右側の「◎」はその文脈中における意味であることを示す。
- (8) 点線の左側の「○」は「新しい+名詞」の形ではその意味の可能性のあるものを示す。
- (9) 点線の左側の「●」は「新しい+名詞」の形ではその意味の可能性がないことを示す。
- (10) 被修飾名詞が「こと」、「もの」、「の」、代名詞・指示詞（「やつ」等）である場合は対象から除く。
- (11) 意味の潜在的可能性については、次のようなテストによった。
 - ① →ア。「まだ新しい～」と言え、かつ「出来てから（始まってから、生まれてから、生じてから、ある状態になってから）、時間がたっていない（状态的に全くあるいは殆ど変化がない）」と感ぜられる状態をいう。))と解釈可能。
典型：外見から判断可能なもので、自然な状態では始めの状態が変化しそれが外見上に現れるもの。
 - ② →ア。（食べ物またはそれに準ずる物を）「新鮮な～である。」と言えるか。
→イ。「とりたてで新鮮な（とりたて同様に新鮮な）～」と言えるか？
典型：野菜、魚
 - ③ →「新しい～」と言え、「これまでとは違う（これまでとは別の）～」と解釈可能か。
 - ④ →ア。「これまでになかった優れた特色を持つ～である。」と言えるか。
→イ。（人間について）「現代的な（進歩的な）～」と言えるか。
典型？：古くなる（他にとって代わられると）存在価値が無くなる（著しく低下する）もの。
 - ⑤ →「使い古してない～」と言えるか。
典型：使うことによって始めの状態が変化し、それが外見から判断できると考えられるもの。
 - ⑥ →「記憶に（印象に）生々しい～」と言えるか。
典型：視覚可能なもの

	名詞語彙	意味						その他
		①	②	③	④	⑤	⑥	
		ア	ウ	アイ	ウ	ア	ウ	
1	借家	○◎	●●	○◎	○●	○◎	○●	
	琴	○??	●●	○●	○●	○◎	○●	
	涙	?●	●●	○◎	●●	○◎	○●	
	本*	○◎	●●	○◎	○●	○??	○●	まだ売られていない
	停車場	○◎	●●	○●	○●	○◎	○●	
	力*3	○?	●●	○◎	?●	○◎	○●	
	靴	○??	●●	○?	○◎	○◎	○●	
	着物	○◎	●●	○◎	○●	○◎	○●	未来時での①は不可か
	外套	○◎	●●	○●	○●	○◎	○●	
10	本*3	○??	●●	○●	○●	○??	○●	発売したばかりの、未買の、出版直後の
	観念	○●	●●	○◎	○◎	○◎	○●	
	姿	?●	●●	○◎	?●	○◎	○◎	
	花札*3	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	まだ新しい～
	小説	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	小説	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	畳*1	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	真新しい～ ①②⑤に意味限定か
	油画	○◎	●●	○◎	○◎	?●	○◎	
	麦藁帽*3	○??	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	買って間もないも意味として入れる?
	世界*3	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	始めてのといった意味
20	炎*2(思想)	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	思想の意
	巻煙草	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	小説	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	教師	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	果樹園	○◎	●●	○◎	○◎	?●	○◎	
	「女の一生」*2	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	小説名
	標札	○◎	●●	○◎	○◎	?●	○◎	
	問*3	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	新しい～を芽ぐませる
	問	○◎	●●	○◎	○◎	?●	○◎	
	星	○◎	●●	○◎	?●	?●	○◎	
30	肉*3	○??	○◎	??	○◎	○◎	○◎	①の??は定義による
	視点	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	体制	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	気持ち	?●	●●	○◎	?●	○◎	○?	
	会社	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	道*2	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	進む方向の意
	時代	○◎	●●	○◎	○◎	?●	○◎	
	体制	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	発想	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	国づくり	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
40	指導者	○◎	●●	○◎	○◎	?●	○◎	
	分野	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	文化	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	働き方	○◎	●●	○◎	○◎	?●	○◎	
	流れ*2(動向)	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	内需	○◎	●●	○◎	?●	○◎	○◎	
	目的税	○◎	●●	○◎	○◎	?●	○◎	
	目的税	○◎	●●	○◎	○◎	?●	○◎	
	領袖*3	○◎	●●	○◎	○◎	?●	○◎	なったばかりの選ばれたばかりの
	時代	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
50	対策	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	生活	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	社会党	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	関係	○◎	●●	○◎	○◎	?●	○◎	
	展望	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	交渉*3	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	始まったばかりの意
	体制	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	交渉	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	貿易	○?	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	不公平*3	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	マイナスイメージ
60	不公平*3	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	マイナスイメージ
	時代	○◎	●●	○◎	○◎	○◎	○◎	
	タイプ	○◎	●●	○◎	○◎	?●	○◎	
	結成	?●	?●	○◎	?●	○◎	○◎	組合～
	委員長	○◎	●●	○◎	○◎	?●	○◎	

現代日本語形容詞の多義構造

	体制	○◎●●○◎○●●●●○●	
	体系	○●●●●○◎○●●●●○●	
	基金	○●●●●○◎○●●●●○●	
	家	○?●●●○◎○●●●○●○●	
	発見	?●●●●○◎?●●●●○●	
70	お手伝いさん	?●●●●○◎○●●●●○●	
	箱	○◎●●●○◎○●●●○?○●	
	やり方	○●●●●○◎○●●●○●○●	
	アイディア	○●●●●○◎○●●●○●○●	
	アイディア	○●●●●○◎○●●●○●○●	
	アイディア	○●●●●○◎○●●●○●○●	
	アイディア	○●●●●○◎○●●●○●○●	
	時代	○◎●●●○◎○●●●●○●	
	感覚	○?●●●○◎○●●●○●○●	
	感情	○?●●●○◎?●●●○●○●	
80	スポーツ	○◎●●●○◎○●●●●○●	
	野球	?◎●●●○◎○●●●●○●	
	歌	○●●●●○◎○●●●○?○●	
	社宅*3	○?●●●○◎○●●●○●○●	①の?は文脈のため
	ファーストミット	○◎●●●○◎○●●●○●○●	
	丸木小屋	○●●●●○◎○●●●○●○●	
	生活	○●●●●○◎○●●●●○●	
	生活	○●●●●○◎○●●●○●○●	
	生物	○◎●●●○◎○●●●●○●	
	住人	○●●●●○◎?●●●●○●○●	
90	機械	○●●●●○◎○●●●○●○●	
	心配ごと	○●●●●○◎○●●●○●○●	
	留袖	○●●●●○◎○●●●○●○●	
	表札*1	○◎●●●○◎○●●●○●○●	
	ヤカン*3	○◎●●●○◎○●●●○●○●	買ったばかりのが文脈中にある
	表札	○◎●●●○◎○●●●○●○●	
	毛糸	○●●●●○◎○●●●○?○●	
	父	???●●○◎?●●●●○●○●	
	WEARHOW	○●●●●○◎○●●●○●○●	
	パターン	○●●●●○◎○●●●○●○●	
100	付き合い方	○●●●●○◎○●●●○?●○●	
	パートナーシップ	○●●●●○◎○●●●○?●○●	
	波*2(時流)	○?●●●○◎?●●●○●○●	
	情報	○?●●●○◎○●●●○?○●○●	
	商売	○?●●●○◎○●●●○●○●	
	やり方	○?●●●○◎○●●●○?●○●	
	デザイン画	○◎●●●○◎○●●●○●○●	
	ボトル	○●●●●○◎?●●●○●○●	
	名前	○◎●●●○◎?●●●○?●○●	
	光	○●●●●○◎?●●●○?●○●	
110	大衆	?●●●●○◎○●●●●○●	
	方向	?●●●●○◎○●●●○●○●	
	感覚*3	○●●●●○?●●●●○●○●	もっと新しい～
	感じ	?●●●●○?●●●●○●○●	
	ドラマ	○◎●●●○◎○●●●○●○●	
	言葉	○●●●●○◎○●●●○●○●	
	言葉	○◎●●●○◎○●●●○●○●	
	言葉	○●●●●○◎○●●●○●○●	
	意味	○●●●●○◎○●●●○●○●	
	言葉	○??●●○◎○●●●○●○●	
120	言葉	○?●●●○◎○●●●○●○●	
	言葉	○●●●●○◎○●●●○●○●	
	言葉	○●●●●○◎○●●●○●○●	
	言葉	○??●●○◎○●●●○●○●	
	任地	○●●●●○◎?●●●○?●○●	
	解釈	○●●●●○◎○●●●○●○●	
	解釈	○●●●●○◎○●●●○●○●	
	意味	○◎●●●○◎○●●●○●○●	
	出発	●●●●●○◎○●●●○●○●	
	手すり*3	○?●●●○◎○●●●○●○●	未来時だが①は?である
130	田	○●●●●○◎○●●●○●○●	

丹 保 健 一

	認め会い	?	●	●	●	○	◎	○	●	●	●	○	●	
	愛情	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	●	
	医学	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	●	
	医学	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	●	
	医学	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	●	
	別荘*3	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	建てたばかりのが文脈中にある
	道*3	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	他の新しい～
	道	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	
	創造	?	●	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	●	
140	世界	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	●	
	センス	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	
	世界	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	●	
	世界	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	●	
	世界	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	●	
	馬糞*3	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	●	価値を新旧で感じないためか。
	印象	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	●	
	決意	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	●	
	眼*2(見方)	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	見方
	一波*2(展開)	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	●	
150	波*2(展開)	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	●	
	波*2(展開)	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	●	
	説	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	
	住まい	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	
	勉強*3	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	●	④の?はコト性かモノ性かによる
	インク*1	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	◎	○	真新しい～
	服	○	??	●	●	○	◎	○	●	●	○	◎	○	
	靴	○	?	●	●	○	◎	○	●	●	○	◎	○	
	教科書	○	??	●	●	○	◎	○	●	●	○	◎	○	
	世界*3	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	●	新しい別の～①
160	夏	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	
	夏	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	
	夏	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	
	意識	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	●	
	感情	○	?	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	
	生命	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	
	まき*3	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	??	?	○	まきを使う?使い古したまき
	経験	○	?	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	
	芸術	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	??	○	○	
	思想	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	
170	自転車*3	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	～に買い換えた
	自転車*3	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	まだかなり新しい～
	物事	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	
	経験	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	
	経験	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	
	経験	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	
	事象	○	?	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	○	
	考え方	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	
	考え方	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	
	歯	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	
180	歯	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	
	生活	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	●	
	方角	●	◎	●	●	○	◎	●	◎	●	◎	●	◎	
	光	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	○	
	関係*3	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	○	成り立った新しい～
	関係	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	○	
	体制*3	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	○	に代わる新しい～
	技法	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	○	
	袴*1	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	○	真新しい～
	世界	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	?	○	○	
190	手拭い	○	?	●	●	○	◎	○	●	●	○	◎	○	
	手拭い*1	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	◎	○	真新しい～
	空気*3	?	?	○	◎	??	○	?	?	◎	●	?	○	汚れていないからか?
	箱*1	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	◎	○	真新しい～
	像	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	○	
	仕事*3	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	○	始めたばかりの意か
	ビール	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	○	○	

現代日本語形容詞の多義構造

200	知識	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	技術	○	◎	●	●	○	●	○	●	●	○	●	○	●	
	意味	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	意味	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	場所	●	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	状況	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	考え方	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
研究*3	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	さまざまな新しい～	
210	意味	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	知識	○	?	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	意味	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	言語	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	システム	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	状況*3	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	目新しい～
	目*2(見方)	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	見方
	可能性	○	●	●	●	○	◎	?	●	●	○	●	○	●	
	意味	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	回路*3	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	まったく新しい～
	テーマ	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	事故*3	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	◎	記憶に新しい～
	変化	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	芸術	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	?	●	○	●	
220	研究	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	?	?	○	●	
	機能	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	関係	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	組み合わせ	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	?	●	○	●	
	製品*3	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	まったく新しい～
	機能	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	恩恵	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	?	●	○	●	
230	技術	○	◎	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	シンボル*3(記号)	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	?	●	○	●	
	側面*3	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	?	●	○	●	代名詞的・指示詞的である
	手法	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	事態	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	状況	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	メディア	○	?	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
240	証明	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	?	●	○	●	
	知識	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	法則性	?	●	●	●	○	◎	○	●	●	?	●	○	●	
	可能性	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	課題	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
	問題	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	?	●	○	●	
	布*3	○	?	●	●	○	◎	○	●	●	○	◎	○	●	買ってから間もない
240	墓地	○	●	●	●	○	◎	○	●	●	○	●	○	●	
241	檜*3	○	◎	●	●	○	●	○	●	○	●	○	●	材木	

表-Gによって被修飾語となる名詞の意味特徴を見ていくことにしたい。その際には、先に示した意味分類によって共起名詞の意味特徴を探りつつ、大ざっぱな意味分類(意味特徴)では説明出来ない名詞に特に注目し、共起する名詞の意味特徴をも説明しうる「新しい」の語義・多義規定を目指したい。

(1)「新しい」①

表－Gによって「新しい①」との共起の具体例が見られる名詞、共起が考えられない名詞、考えにくい名詞を挙げると次のようになる。

a. (新しい① ウ→㊦) ; <①の意味としての具体例があるもの>

借家 本* 停車場 外套 花札*3 畳*1 油画 炎*2 (思想) 小説 教師 果樹園 標
札 体制 指導者 分野 領袖 交渉*3 体制 箱 時代 スポーツ 野球 ファーストミット
生物 表札*1 ヤカン*3 表札 デザイン画 名前 ドラマ 言葉 出発 医学 医学 別荘
馬糞*3 印象 説 住まい インク*1 生命 芸術 思想 自転車*3 袴*1 手拭い*1 箱*

1 仕事*3 技術 檜*3

b. (新しい① ア→●): <①の意味の潜在的可能性が考えられないもの>

出発、方角、場所

c. (新しい① ア→?、??): <①の意味の潜在的可能性が考えにくいもの>

涙、姿、結成、発見、父、大衆、方向、認め合い、創造、空気、法則性、

これらの名詞を見ると、具体的な用例のある名詞は具物性、抽物性、有情性（表-D参照）を持つものが殆どであることが分かる。その逆に可能性のないもの、あるいは考えにくいものの意味特徴としては、活動性、属性性、副属性、場所性、時間性が目立つ。しかし、ともに有情性を持つ「指導者」「領袖」「父」「大衆」であっても、異なる共起状況を示している場合や、ともに抽象性を持つものが異なる共起状況を示しているものもある。

単純な意味特徴では説明できない共起状況が見られるものも多いが、次のような意味規定によって共起する名詞の意味的条件を説明することができるようと思われる。（語義記述をめざしたものではない）

【ある事柄・状態の出現の直後の状態である。あるいはある事柄・状態の出現の後それほど時間が経過していない状態である。】

上記の意味規定は、

(a)出現があること。

(b)時間的な経過とともに状態が変化する性質を持つものであること。

の二つを前提として成り立っていると考えられる。

そしてさらに言えば、

(c)「新しい」と判断可能であるもの。

を追加することが出来る。

これらの前提を名詞共起の自然らしさという視点から言えば、

(a)'出現（の過程）が想定しやすいもの、

(b)'時間の経過による変化が想定しやすいもの、

(c)①「新しい・新しくない」の判断がしやすいもの、

と言い換えることが出来る。

上記のように意味規定をすることによって、意味分類上同一の位置をしめる名詞（例えば、①の意味としての意「新しい委員長」、??「新しい父」）の異なる共起状況が説明出来る。

(2)「新しい」②

「新しい②」との共起が考えられるものとして、次のようなものがある。

a. (新しい② ア→○); <②の意味の可能性が考えられるもの>

肉、空気、ビール

これらは意味の規定によって変わることは言うまでもない。つまり②イのテスト（とりたてで新鮮な（とりたて同様に新鮮な）～。」と言えるか?）によれば総て不可となるのである。意味規定を、ア、「(食べ物またはそれに準ずる物が)新鮮である。」とするか、イ、「とりたてで新鮮だ（とりたて同様に新鮮だ）。」とするかによって異なる。

辞書等の意味記述では、「[野菜・魚などがとりたてで] 生き生きしている。」「とれたばかりで、新鮮だ。「一・野菜」「生鮮食品がとれたばかりでみずみずしい。生き生き している。新鮮である。「一・き魚」「なま物が新鮮さを保っている。「一・魚」などと記述していること

からも推察出来るように、「空気」や「ビール」を「新しい②」の典型的な意味の例とはしてはいないようである。しかし、③④⑤②の中では②の意味にもっとも近いことは疑う余地のないことであろう。

このように考えてくると、②の意味は、次のように考えることが言語直感に合致しているようである。

【食べ物とりたてで鮮度を保っている（とりたて同様に鮮度を保っている）】＜＋価値＞

②の意味は①の意味の特殊なものといった性格を持ち、①の意味と同様の前提条件をも持つ。②の意味は、生きている状態からそうではない状態になってから、つまり生物から食べ物になってからの状態の変化が、そのものの（食物としての）存在価値に決定的な意味を持つことから生じた意味ではないかと考えられる。換言すれば、時間の経過がそのものの価値に決定的な意味を持つものとしての食べ物が共起の典型的なものと言えよう。このように考えると、肉、ビール、空気となるに従い典型から遠ざかるということが出来よう。

(3)「新しい③」

表-Gによって「新しい①」との共起の具体例が見られる名詞は次のようなものである。

a. 新しい③ ア→◎；＜③の意味としての具体例があるもの；＞

借家 本* 力* 3 着物 観念 姿 花札 小説 小説 油画 世界* 3 巻煙草
小説 教師 果樹園 「女の一生」* 2 標札 問* 3 問 星 視点 体制 気持ち
会社 道* 2 時代 体制 発想 国づくり 指導者 分野 文化 働き方 流れ* 2
(動向) 内需 目的税 目的税 領袖 時代 対策 生活 社会党 関係 展望 交渉
* 3 体制 交渉 貿易 不公平* 3 不公平* 3 時代 タイプ 結成 委員長 体制
体系 基金 家 発見 お手伝いさん 箱 やり方 アイディア アイディア アイディ
ア アイディア 時代 感覚 感情 スポーツ 野球 歌 社宅 ファーストミット 丸
木小屋 生活 生活 生物 住人 機械 心配ごと 留袖 表札* 1 ヤカン* 3 表札
デザイン画 名前 ドラマ 言葉 意味 医学 別荘* 3 印象 説 住まい 生命
芸術 思想 自転車* 3 世界 手拭い* 1 仕事* 3 桧

表-Gを見ると、「新しい③」が最も制限なく名詞と共起することが読みとれる。しかし、総ての名詞と共起するわけではない。「右」「上」といった語とは共起しない。それは、「新しい③」の意味を次のように考えることにより説明出来るよう。

【今までのものとは違う（これまでになかった、初めてである、これまでとは別の）】

このような意味が成立するためには、「新しい」①の意味規定で指摘した、(a)出現、非出現の別があること。の前提の外に、(b)比較するものの存在。と言う前提が必要となる。

このような前提があることから、「右」や「左」といった、それ自身出現及びが比較の対象となりにくい概念とは共起しないのであろう。

(4)「新しい④」

辞書等の意味記述を見ると、④の意味記述は次の二つに大きく分かれるようである。

a. (人間について)「進歩的である(現代的である)」＜＋価値＞

b. 「これまでになく優れた特徴を持つ」＜＋価値＞

本稿では、aの【(人間について)進歩的である(現代的である)】を考えたい。aの意味規定を選ぶ理由がいくつか挙げられるが、ここでは実際の用例によればbといった意味は文脈に負っていると思われる意味であり、語義の一つとして挙げる必要がないということのみ指

摘しておきたい。

一方、「新しい女性」等は、単に「これまでにない特色を持った女性」を越えた限定的な価値を含んだ意味を持つ。すなわち、「新しい」③より意味的に限定が見られる。「新しい」①②では意味として不自然であり、「新しい」③としてもすわりが悪く、「新しい」④として初めて受け入れられ意味となるものと思われる。「新しい」⑤ではもちろん不自然である。

(5)「新しい⑤」

表-Gによって「新しい①」との共起の具体例が見られる名詞、共起が考えられない名詞を挙げると次のようになる。

a. 新しい⑤ ア→◎; <意味用法の具体例>

借家、琴、靴、外套、麦藁帽、インク、服、靴、教科書、手拭い、手拭い*1 箱*1、布

b. 新しい⑤ ア→●; <潜在的意味用法が考えられないもの>

涙 姿 小説 小説 世界*3 巻煙草 小説 教師 「女の一生」*2 肉*3 体制 気持ち 会社 体制 国づくり 流れ*2 (動向) 内需 時代 生活 社会党 関係 展望 交渉*3 体制 交渉 貿易 不公平*3 不公平*3 時代 結成 発見 お手伝いさん 時代 感情 スポーツ 野球 生活 生活 生物 住人 心配ごと 父 商売 大衆 方向 感覚*3 感じ 出発 印象 決意 波*2 (展開) 勉強 夏 夏 夏 意識 感情 生命 経験 経験 経験 経験 生活 方角 仕事*3 ビール 状況 状況*3 可能性 事故*3 変化 事態 状況 可能性 課題

「新しい」⑤の意味は、同一物内における比較と言った点では、「新しい」①②と同類である。違いは、①②が時間の経過を問題にしているのに対し、⑤では使用・未使用を問題にしている点である。つまり、【使っていないため、始めの状態を保っている（出現した直後の状態と変わらない）】。言い換えれば「始めの状態を保っているその理由（「未使用」）」に焦点がある意味と言えよう。

しかし、時間の経過と無関係ではない。それはたとえ未使用であっても時間が相当たっているものについては言わないことから理解されよう。（例；?「10年前に作った新しい（未使用の）帽子」）

これは、明らかに直後の状態に変化があると感じられるからである。このようなことからさらにコア的とでも言うべき意味（「出現直後の状態である」）を垣間みることが出来るように思われる。

使用・未使用を前提とした意味規定である限り、共起名詞も使用可能か否かによって限定される。先に示した各語彙は、使用可能なものか不可能なものかによってその共起状況の別を説明することが出来る。

(6)「新しい⑥」

「新しい⑥」の意味は次のように規定できそうである。

【印象、記憶がその時と殆ど同じで薄れていない状態である。（印象、記憶が生々しい）】

しかし、⑥の意味は次のような特徴を持つことから①～⑤と同列に扱うことが出来ない。

a. 被修飾名詞そのものの新旧に無関係である。

b. 「記憶に」「印象に」といった語を伴うことを条件とする。

(7) 先に示した「新しい」⑦「改めた後である」は、③に含ませて考える。

IV-1-4. 「新しい」の多義配列をめぐって

辞書においては第一義を①の意味とするか③の意味にするかのゆれが見られることはすでに指摘した。ここでも①と③の意味に焦点を当てたい。

とりあえず主要な各多義についてまとめておこう。

(1) 主要な多義の語義と共起名詞の意味特徴

- ①語義；ある事柄・状態の出現の直後である。あるいはある事柄・状態の出現の後それほど時間が経過していない。(それ自身の時間的経過における比較)

典型的共起名詞(被修飾語となる名詞)

：〈物〉〈人工具体物〉

- ②語義；食べ物がとりたてで新鮮である(とりたて同様に新鮮である)。

；+評価(←+価値の添加)

典型的共起名詞

：野菜・魚介類←農作物・漁獲物←食べ物←〈物〉

(←形容主体の強い限定)

- ③語義；今までのものとは違う(これまでになかった、初めてである、これまでとは別の)
(他の物との対比)

典型的共起名詞

：〈人〉〈物〉〈事〉

- ④語義；属性〈時間〉(〈類型〉？)

；(人間について)進歩的である(現代的である)。

；+評価(←+評価の添加)

典型的共起名詞

：〈人〉

- ⑤語義；未使用である。

典型的共起名詞

：〈物〉〈人工具体物〉

(2) ①と③の比較

- ③は、つぎの三点において明らかな優位性を示している。

(ア) 共起名詞の意味的広がり。

(イ) 連用用法。(形態的広がり)

(ウ) 使用頻度の高さ。

一方、明らかに①が優位であるものとして、

(ア) 名詞句の形成。

がある。

何を第一義の基準とするかは、第一義をどのようなものと見るかによる。頻度数を第一の基準とすれば③が第一義と言うことになる。しかし、語源・歴史的発達順、頻度順による多義配列(第一義の決定)には問題がある事はすでに指摘のあるところである(国広1986)。

共起名詞からの検討、連用用法からの検討、そして名詞句形成の持つ意味についての検討も必要なるであろう。しかし、その前に語義そのものの比較、並びに関連性の分析が要求されよう。というのは上に指摘した連用用法や名詞句の形成などを言語直感として把握することはな

いのであり、語義の配列は、語義・意味に対する言語直感に依るところが大であると思われるからである。

前にも指摘したように、①③ともに、「事物・事態の出現」がその意味の前提にあり、そして、その出現した事物・事態の状態についての形容であると言えよう。

①は、その事物・事態の出現があってから時間的に経過していない状態を、③は出現した事物・事態がこれまでにない（と違う）状態であることを、各々表していると言えよう。

又、①はそれ自身（事物・事態）の出現時とある時点における比較であり、③は出現した事物・事態と他の同類の事物・事態との比較によって成立している意味であるという事が出来よう。

①と③は、「事物・事態の出現」といった漠然とした意味的関連性のみのように思われてくる。しかし、一部の例であるが、「事物・事態の出現」以外の意味的関連性も見られるようである。具体例を見よう。

----- 中学校教科書光村国語1より -----

アマンがスーツケースを上に乗ってくれ、僕も手伝った。荷物を積んだり下ろしたりしている間に、ドアが閉まらないよう、エレベーターのボタンを押してやったんだ。おばあさんとこのお手伝いさんが、僕を中へ入れた。また【新しい】お手伝いさんで、この前と比べると若くて太ってる。荷物をほどいてれば、おばあさまはじきに帰ります、と言った。

----- 中学校教科書光村国語2より -----

黒髪は若さと清らかさと繊細さを表しています。その我が心を人には見せずに、自分の思いを守って生きようというのです。晶子は、女性としての誇りと自信を歌っているのです。強い歌といえるでしょう。この自覚が、【新しい】歌を生む原動力でした。

----- 中学校教科書光村国語3より -----

草の戸も住み替はる代ぞ雛の家

（元の草庵にも、【新しい】住人が越してきて、わたしの住んでいたころのわびしさとは違って変わり、華やかに雛人形などを飾っている。）

表八句を、（門出の記念に）庵の柱に掛けておいた。

上の例（中学校国語教科書の例の中で現在の事象又は過去の事象を記しているものより抜き出したもの。未来事象の場合①の意味は出にくい）を見ると、共起名詞（新しいによって修飾されている名詞）はいずれも何からかの意味において、いずれも時間に関係しているように思われる。つまり、③の意味に①の意味が関わりを持つことが多いと言えよう。しかし、①の中に③の意味（「違う」「別の」）といった意味を見ることは困難である。つまり、①から③への意味の方向性は考えられてもその逆は難しいと思われるのである。このことから、意味の関連性からは、①を第一義と考える可能性も残されているように思われるのである。①と③の対照を表-Hとしてまとめておこう。

表－H

	①	③
語義	ある事柄・状態の出現の直後である。あるいはある事柄・状態の出現の後それほど時間が経過していない	今までのものとは違う（これまでになかった、初めてである、これまでとは別の）
前提・含意	(a)出現があること、 (b)時間的な経過とともに状態が変化する性質を持つこと、 (c)「新しい」と判断できるもの、？	(a)出現があること (b)比較するものが存在すること。
典型的共起名詞 (参照：表－C)	<物><人工具体物>	<人><物><事>
形態 未然形 新しい 連用形 新しく 連用形 新しい 連用形 新しい 連用形 新しい 終止形 新しい 連体形 新しい 仮定形 新しいけれ	0 / 287 1 / 287 0 / 287 1 / 287 ⑥の意味としての1例 21 / 287 0 / 287	0 / 287 25 / 287 0 / 287 0 / 287 0 / 287 0 / 287 207 / 287 0 / 287
名詞句作成 ^{注1}	可	不可

注1；IPALによる。終止用法のある物。

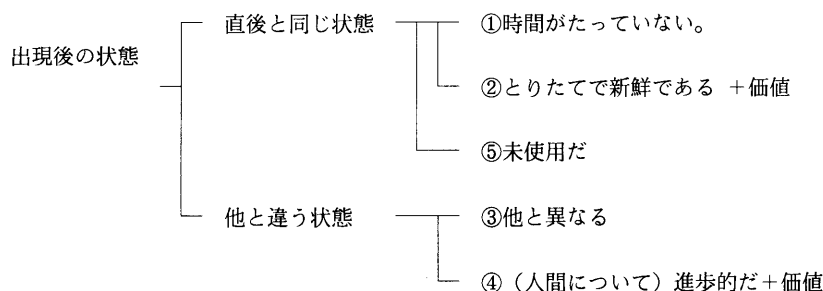
(2)－2. ①③と②④⑤の意味

①を第一義とする有力な理由に②④⑤との意味的関連性がある。すでに記したように、②④⑤は各々【(食べ物またはそれに準ずる物が)新鮮である。】【(人間に関して)進歩的である(現代的である)】【未使用である。(使っていないため、始めの状態を保っている、出現した直後の状態と変わらない)】の語義を表す。いずれも時間に深く関わっていることは言うまでも無いことである。

IV－1－5. 「新しい」の多義構造

新しいの多義構造についてまとめておこう。

表－I



*紙幅の関係上、IV－2. 「あまい」以降については、「現代日本語形容詞の多義構造－形容詞多義語における第一義の条件－(その2)」において述べたい。引用文献、参考文献、用例出典一覧もまとめて記すことにしたい。